



NEWS / 新着情報

[Home](#) > [新着情報](#) > [アントレプレナーシップ教育企画「新聞コミュニケーション・コンテスト」を開催しました \(11/12\)](#)

トピックス 2023.12.22

## アントレプレナーシップ教育企画「新聞コミュニケーション・コンテスト」を開催しました (11/12)

2023年11月12日（日）PARKSアントレプレナーシップ人材育成プログラム《Edge-PRIME Initiative（小中高生向けアントレプレナーシップ教育）》の取り組みとして、本学の学生7名と西日本新聞のこども記者経験者（小中高校生）14名が本学に集まり、「新聞コミュニケーション・コンテスト」を開催しました。この取り組みは、“社会をよりよくするため自由な発想で自分らしく”をモットーに学学生と西日本新聞のこども記者経験者がアントレプレナーシップについて学び、考える企画で、こども記者経験者たちは「こども食堂」と「海洋ごみ」をテーマに、それぞれの取材や本学学生との意見交換に基づくプレゼンテーションを披露しました。また、この取り組みについて2023年12月6日（水）付の西日本新聞に掲載されました。



こども食堂に来てもらうため、地域に住む外国人向けのポスターを作成するアイデアを紹介

Home

機構について

機構の取組み

学生サポート

刊行物

教職員の方へ

在学生の方へ

Copyright©  
Fukuoka Institute of  
Technology

審査員、来学された保護者（21名）が注目する中、こども食堂取材したこども記者経験者は、「こども食堂の活  
は、やりがいはだけでなく、宣伝等の周知も必要」と述べ、自身の地域に外国人居住者が多いことに着目して、英語のポスター、  
シを作成するアイデアをプレゼンしました。また、高校でヨット部に所属しているというこども記者経験者は、練習時に汚れた海  
近に見て、海洋ごみ問題に関心を持ったと述べ、長崎県対馬市の「核のごみ」処分場問題を巡る新聞記事を取り上げ、海洋ごみと  
ごみに対して、誰もが当事者意識を持つべきだと訴えました。



プレゼンテーションは他のこども記者や本学学生のほか、審査員や保護者からも注目が集まった

また、本学学生は、9月に実施された事前の勉強会で、こども記者経験者たちのメンターとなって、「アントレプレナーシッ  
は?」「より良いプレゼンテーションの方法とは?」について、自身の経験を生かしながら意見交換を行い、こども記者経験者たち  
ポートしました。メンターを担当した学生は、この企画の参加を通じて「以前はアントレプレナーシップとは、会社を作る人、と  
イメージがあったが、実際は他者を巻き込み、他者を受け入れながらアイデアを練り上げて社会に貢献することだと理解できた」  
し、本学学生にとっても貴重な経験となりました。

Home

機構について

機構の取組み

学生サポート

刊行物

教職員の方へ

在学生の方へ

Copyright©  
Fukuoka Institute of  
Technology



コンテスト終了後には本学学生と子ども記者経験者達の交流も行われた

このプログラムを企画した本学教養力育成センター中野美香教授は「自分にしか言えないことをはっきり伝えること。内容はもんですが、自分らしさが一番大事です。」とメッセージを送りました。また、コンテストを終えて、次のステップとして「今日のプレゼンテーションを英訳して、動画にしてみしてほしいです。共通言語の英語で話すことで世界中の人々とつながることができます。」と子ども記者経験者へアドバイスしました。



## 教育開発 推進機構

**FIT** Fukuoka Institute of Technology  
福岡工業大学  
教育開発推進機構



Home

機構について

機構の取組み

学生サポート

刊行物

福岡工業大学 教育開発推進機構

〒811-0295 福岡市東区和白東3-30-1

TEL (092) 606-3131 (代) / (092) 606-7370 (ダイヤルイン)

Mail : e-kaihatsu@fit.ac.jp

— 教職員の方へ 

— 在学生の方へ